機械系コース体系図（コース名、コース番号、掲載ページ）

➡は推奨受講の順番を表します

機械設計技術・生産技術

機械設計に必須の知識や、設計技術を習得する

機械設計のための工業力学と材料力学	P15
MA011	5/14（水）、15（木）、16（金）
MA012	10/14（火）、15（水）、16（木）

➡

機械設計のための総合力学（機械要素編）	P15
MA021	7/8（火）、9（水）、10（木）
MA022	11/5（水）、6（木）、7（金）

➡

機械設計のための総合力学（材料力学演習編）	P16
MA031	9/3（水）、4（木）、5（金）
MA032	1/7（水）、8（木）、9（金）

変更点・変化点に着目したFMEAとデザインレビューによる未然防止の進め方	P16
C182A	5/27（火）、28（水）
C182B	10/16（木）、17（金）

機械設計に必須な材料力学を、今一度学び直してみませんか？

機械製図技術

機械図面の作図・読図に必要な知識や技術を習得する

公差設計・解析技術（応用編：ガタ・レバー比の考え方）	P17
C128A	11/26（水）、27（木）

⬆

実践機械製図（各種投影法の習得）	P18
MA061	4/16（水）、17（木）、18（金）
MA062	7/28（月）、29（火）、30（水）
MA063	10/1（水）、2（木）、3（金）

➡

実践機械製図（寸法・公差編）	P18
MA071	6/4（水）、5（木）、6（金）
MA072	8/27（水）、28（木）、29（金）
MA073	12/10（水）、11（木）、12（金）

➡

公差設計・解析技術	P17
C122A	6/10（火）、11（水）
C122B	10/22（水）、23（木）

実践機械製図（機械要素編）	P19
MA251	6/18（水）、19（木）、20（金）

2次元CADによる機械設計技術〈AutoCAD 編〉	P20
MA081	5/27（火）、28（水）、29（木）
MA082	2/17（火）、18（水）、19（木）

➡

2次元CADによる機械製図技術（環境設定編）〈AutoCAD編〉	P20
MA091	7/2（水）、3（木）
MA092	3/4（水）、5（木）

3次元CAD／CAM／CAE技術

3次元モデルの構築法から、データの活用方法を習得する

3次元CADを活用したソリッドモデリング技術＜CATIA編＞	P21
MA101	5/20（火）、21（水）、22（木）
MA102	1/13（火）、14（水）、15（木）

➡

3次元CADを活用したアセンブリ技術＜CATIA編＞	P22
MA121	8/7（木）、8（金）

3次元CADを活用したサーフェスモデリング技術＜CATIA編＞	P23
MA141	8/26（火）、27（水）、28（木）

冊子版コースガイド P7「MA012」日程に誤りがありました。
【誤り】抹消線箇所

機械設計のための工業力学と材料力学	P15
MA011	5/14（水）、15（木）、16（金）
MA012	~~10/8（水）、9（木）、10（金）~~

【正しい日程】は、表記のとおりです。

3次元CADを活用したソリッドモデリング技術＜SOLIDWORKS編＞	P21
MA111	6/4（水）、5（木）、6（金）
MA112	7/15（火）、16（水）、17（木）

CAM技術＜MasterCAM編＞	P25
MB201	9/24（水）、25（木）、26（金）

➡

機械設計のための工業力学と材料力学	P15
MA011	5/14（水）、15（木）、16（金）
MA012	10/14（火）、15（水）、16（木）

3次元CADを活用したアセンブリ技術＜SOLIDWORKS編＞	P22
MA131	6/19（木）、20（金）
MA132	9/18（木）、19（金）

3次元CADを活用したサーフェスモデリング技術＜SOLIDWORKS編＞	P23
MA151	7/29（火）、30（水）、31（木）

➡

設計者CAEを活用した構造解析＜SWSimulation編＞	P24
MA161	2/25（水）、26（木）、27（金）

設計者CAEを活用した機構解析＜SWMotion編＞	P24
MA231	11/18（火）、19（水）

リンクやカムの動作を解析します。
アセンブリの応用編となります。

※終了コースは、要件を満たせば、オーダーメイドセミナー（P68）としてのご相談も承ります。

機械系コース体系図（コース名、コース番号、掲載ページ）

➡は推奨受講の順番を表します

空気圧制御技術

空気圧制御器の構造、動作原理など回路作成を中心に習得する

空気圧実践技術	P19
MA171	6/3（火）、4（水）、5（木）
MA172	12/2（火）、3（水）、4（木）

実機で使われる空気圧装置の動作原理を学べます

このコースを受講してさらに電気のことを学びたい方は P10 の電気系コースがおすすめです。

射出成形加工

射出成形品の設計の考え方や、金型設計手法について習得する

プラスチック材料の選定技術	P25
MA181	9/8（月）、9（火）

プラスチック射出成形品の設計	P26
MA191	6/23（月）、24（火）、25（水）

プラスチック射出成形金型設計技術（設計知識習得編）	P26
MA201	11/11（火）、12（水）、13（木）、14（金）

射出成形品設計の考え方や、金型設計手法を習得します

ホットランナー金型設計技術	P27
MA221	1/29（木）、30（金）

ホットランナーを利用した金型について学びます

プラスチック射出成形金型設計技術（トラブル要因と対策）	P27
MA261	3/17（火）、18（水）、19（木）

プラスチック金型設計に係るトラブルを科学的に分析し、改善策を学びます

機械保全

生産現場における油空圧装置保全についての知識や技能を習得する

生産現場の機械保全技術	P28
MX011	5/21（水）、22（木）

※体系的にコースをご用意しております。矢印の順に学んで頂くと、より理解が深まります。
※請求書、受講票、修了証書のコース名には＜＞の名称は記載されません。

教室内イメージ

—教室—

—PC室—

機械系コース体系図（コース名、コース番号、掲載ページ）

➡は推奨受講の順番を表します

測定技術

製造現場において、必要な正しい測定の知識と技術を習得する

精密測定技術（長さ測定編）	P33
MD011	4/21（月）、22（火）
MD012	8/21（木）、22（金）
MD013	1/22（木）、23（金）

↓

ＮＣ旋盤加工／マシニングセンタ加工（Ｐ９）へ

➡

精密測定技術（精度管理編）	P33
MD021	6/10（火）、11（水）

精密測定技術（機械検査編）	P34
MD031	6/30（月）、7/1（火）
MD032	12/9（火）、10（水）

精密形状測定技術	P34
MD051	2/12（木）、13（金）

図面に含まれる表面性状や同心・円筒などに使われる幾何公差の記号を実際に測定することで理解しましょう。

三次元測定技術（要素測定編）	P35
MD061	7/15（火）、16（水）
MD062	10/1（水）、2（木）

➡

三次元測定機による幾何偏差の測定技術	P35
MD071	10/29（水）、30（木）

三次元測定機を使った測定の基本から幾何公差の測定まで習得できます

ＮＣ旋盤加工

旋盤加工における、加工条件やプログラム手法、段取りなどの技術を習得する

旋盤加工技術（外径・内径加工編）	P28
MB021	7/22（火）、23（水）、24（木）、25（金）
MB022	2/3（火）、4（水）、5（木）、6（金）

➡

旋盤加工応用技術（複雑形状加工編）	P29
MB031	11/4（火）、5（水）、6（木）、7（金）

課題作成を通して、普通旋盤の加工技能を習得できます。

NC旋盤加工技術（加工・段取り編）	P29
MB061	6/25（水）、26（木）、27（金）
MB062	12/17（水）、18（木）、19（金）

NC旋盤プログラミング技術	P30
MB071	5/27（火）、28（水）、29（木）、30（金）

➡

NC旋盤プログラミング技術（プログラム～加工編）	P30
MB081	9/16（火）、17（水）、18（木）、19（金）

マシニングセンタ加工

マシニングセンタ加工における、加工条件やプログラム手法、段取りなどの技術を習得する

フライス盤加工技術（平面・溝加工編）	P31
MB041	5/14（水）、15（木）、16（金）

➡

フライス盤加工応用技術（複雑形状加工編）	P31
MB051	12/2（火）、3（水）、4（木）、5（金）

課題作成を通して、フライス盤の加工技能を習得できます

マシニングセンタプログラミング技術	P32
MB091	5/20（火）、21（水）、22（木）、23（金）

↓

CAM技術＜MasterCAM編＞	P25
MB201	9/24（水）、25（木）、26（金）

➡

マシニングセンタ加工技術	P32
MB101	11/26（水）、27（木）、28（金）

実加工でミスを起こさないための段取りなどを習得します。

※終了コースは、要件を満たせば、オーダーメイドセミナー（P68）としてのご相談も承ります。

電気・電子系コース体系図（コース名、コース番号、掲載ページ）

➡は推奨受講の順番を表します

電気保全技術

現場のための電気保全技術	P45
EX021	4/14（月）、15（火）
EX022	5/14（水）、15（木）
EX023	7/2（水）、3（木）
EX024	9/3（水）、4（木）
EX025	10/1（水）、2（木）
EX026	2/18（水）、19（木）

➡ 有接点シーケンス制御技術へ

有接点シーケンス制御技術（リレーシーケンス・電動機など）

有接点シーケンス制御の実践技術	P45
EA011	4/24（木）、25（金）
EA012	5/21（水）、22（木）
EA013	6/4（水）、5（木）
EA014	8/20（水）、21（木）
EA015	9/10（水）、11（木）
EA016	10/8（水）、9（木）
EA017	2/25（水）、26（木）

➡

シーケンス制御による電動機制御技術	P46
EA021	7/23（水）、24（木）
EA022	10/29（水）、30（木）

可逆回転回路やY-Δ始動回路などの有接点シーケンス技術を用いた三相誘導電動機における制御を習得します

➡

電動機のインバータ活用技術（配線活用編）	P46
EA111	11/5（水）、6（木）

➡ ＰＬＣ制御技術へ

ＰＬＣ制御技術

＊【有接点シーケンス制御の実践技術】を受講された方、または同等の知識をお持ちの方が対象です

PLCプログラミング技術（ビルディングタイプ編）	P47
EA281	5/28（水）、29（木）
EA282	6/25（水）、26（木）
EA283	7/9（水）、10（木）
EA284	8/4（月）、5（火）
EA285	11/12（水）、13（木）
EA286	1/14（水）、15（木）

PLCプログラミング技術（パッケージタイプ編）	P47
EA291	9/24（水）、25（木）

PLCプログラミング技術（キーエンス編）	P48
EA361	6/11（水）、12（木）
EA362	12/3（水）、4（木）

※キーエンス編は本コースのみです

➡

PLC制御の回路技術（応用命令編）	P48
EA271	7/30（水）、31（木）
EA272	10/22（水）、23（木）
EA273	1/21（水）、22（木）

➡

PLC制御の応用技術（電力計測ユニット編）	P49
EA121	10/15（水）、16（木）

PLCによる位置決め制御技術	P50
EA051	12/17（水）、18（木）

PLCによるFAネットワーク構築技術（CC-Link編）	P51
EA131	1/28（水）、29（木）

PLC-PLC間通信や、CC-Link上にある離れた機器の制御方法を習得します

➡

PLCによるインバータ制御技術	P52
EA141	11/26（水）、27（木）

➡

PLCによるタッチパネル活用技術	P50
EA061	12/10（水）、11（木）

➡

PLCによる自動化制御技術（PLC回路構築手法編）	P49
EA041	11/19（水）、20（木）

➡

《保全・管理》

PLC制御のトラブル処理	P53
SX161	6/18（水）、19（木）

電気・電子系コース体系図（コース名、コース番号、掲載ページ）

➡は推奨受講の順番を表します

電子回路（アナログ回路・ディジタル回路・実装技術など）

電子回路の計測技術	P37
ED011	4/9（水）、10（木）
ED012	6/25（水）、26（木）
ED013	10/22（水）、23（木）

➡

トランジスタ回路の設計・評価技術	P37
EA071	7/9（水）、10（木）

オペアンプ回路の設計・評価技術	P38
EA081	8/6（水）、7（木）

センサ回路の設計技術	P38
EA151	9/3（水）、4（木）

ディジタル回路設計技術	P39
EA091	6/5（木）、6（金）

➡

HDLによる回路設計技術（VHDL編）	P39
EA301	2/25（水）、26（木）、27（金）

マイコンのハードウエアの理解に不可欠なディジタル回路を基礎を含めた内容で学び、次にその応用技術となるHDLを用いたディジタル回路設計技法を学びます。

マイコン制御システム開発技術（Arduino編）	P40
EA211	5/28（水）、29（木）

基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術（挿入実装、端子・コネクタ編）	P44
EB021	4/24（木）、25（金）
EB022	11/6（木）、7（金）

➡

基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術（表面実装編）	P44
EB011	8/20（水）、21（木）

制御技術（計測制御、ＩＣＴなど）

製造現場におけるLAN活用技術	P43
EA331	10/23（木）、24（金）

NEW

オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術	P41
EA181	10/8（水）、9（木）
EA182	12/18（木）、19（金）

➡

オープンソースプラットフォーム活用技術（Androidアプリ開発）	P42
EA171	11/12（水）、13（木）

Ｊａｖａプログラミングを習得後に、Ｊａｖａ言語を用いてＡｎｄｒｏｉｄアプリの開発を習得します

建築系コース体系図（コース名、コース番号、掲載ページ）

建築設計

実践建築設計2次元CAD技術〈AutoCAD編〉	P65
HG071	7/30（水）、31（木）

NEW

管理系コース体系図（コース名、コース番号、掲載ページ）

➡は推奨受講の順番を表します

生産管理

PLC制御のトラブル処理	P53
SX161	6/18（水）、19（木）

自主保全・現場改善活動による総合的生産保全技術	P53
SX141	7/16（水）、17（木）
SX142	1/21（水）、22（木）

現場での改善活動の進め方、ラインへの自主保全展開のための知識を学びます

製造実行システム（MES）を活用した製造計画実践技術	P54
SX191	1/28（水）、29（木）

製造計画の立案を効率的にしてみませんか。

原価管理から見た生産性向上	P55
SX011	2/5（木）、6（金）

生産現場改善手法	P55
SX031	5/15（木）、16（金）

なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善	P56
SX021	6/10（火）、11（水）
SX022	11/13（木）、14（金）

なぜなぜ分析による製造現場の問題解決	P56
SX041	10/29（水）、30（木）

RENEW

標準時間の設定と活用	P57
SX061	6/23（月）、24（火）

標準作業時間の設定で『原価低減』につなげます

標準作業手順書の作り方と効果的な現場運用管理	P57
SX071	4/21（月）、22（火）

生産活動における課題解決の進め方	P59
SX091	7/22（火）、23（水）

生産現場に活かす品質管理技法	P59
SX111	10/8（水）、9（木）

RENEW

生産性向上を目指した生産管理手法	P60
SX201	7/7（月）、8（火）

NEW

実験計画法を活用した生産プロセスと品質の改善	P60
SX211	8/21（木）、22（金）

NEW

新QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証（QC編）〈統計分析編〉	P58
SX121	9/24（水）、25（木）、26（金）

➡

新QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証	P58
SX131	1/20（火）、21（水）

※体系的にコースをご用意しております。矢印の順に学んで頂くと、より理解が深まります。

※請求書、受講票、修了証書のコース名には＜＞の名称は記載されません。

管理系コース体系図（コース名、掲載ページ、コース番号、日程）

➡は推奨受講の順番を表します

教育

技能伝承のための部下・後輩指導育成	P61
SZ091	9/4（木）、5（金）

5Sによるムダ取り・改善の進め方	P61
SZ021	4/3（木）、4（金）

製造現場で活用するコーチング手法	P62
SZ011	5/28（水）、29（木）
SZ012	9/17（水）、18（木）
SZ013	11/26（水）、27（木）
SZ014	2/12（木）、13（金）

➡

生産性向上のための現場管理者の作業指示技法（人材育成への効果的表現）	P62
SZ041	12/10（水）、11（木）

仕事と人を動かす現場監督者の育成	P64
SZ031	8/4（月）、5（火）
SZ032	10/2（木）、3（金）

ヒューマンエラー防止実践手法	P63
SZ061	12/4（木）、5（金）

製造現場担当者の実践力向上	P63
SZ071	6/3（火）、4（水）

※終了コースは、要件を満たせば、オーダーメイドセミナー（P68）としてのご相談も承ります。

教室内イメージ

—実習棟—

—教室—

記入例

令和7年度 能力開発セミナー

FAX番号 027-347-6668
電話番号 027-347-3905

☑ 受講申込書　□ 受講変更届　□ キャンセル届

該当に ☑チェックを入れて、下記◎欄どちらかをご記入ください。

届出日 令和 7 年 4 月 1 日

群馬職業能力開発促進センター（ポリテクセンター群馬）所長 殿

訓練内容と受講要件を確認の上、以下のとおり申込みます。

コース番号	コース名	開始日	ふりがな 受講者氏名		西暦 生年月日
EA301	HDLによる回路設計技術（VHDL編）	11/26 ～	ぐんま たろう 群馬 太郎	男・女	1960 年 1 月 1 日
訓練に関する経験・技能等※1		就業状況※2	正社員 非正規雇用 その他(自営業等)		
コース番号	コース名	開始日	ふりがな 受講者氏名		西暦 生年月日
SZ041	生産性向上のための現場管理者の作業指示技法（人材育成への効果的表現）	12/10 ～	同上	男・女	年 月 日
訓練に関する経験・技能等※1		就業状況※2	正社員 非正規雇用 その他(自営業等)		
コース番号	コース名	開始日	ふりがな 受講者氏名		西暦 生年月日
		～		男・女	年 月 日
訓練に関する経験・技能等※1		就業状況※2	正社員 非正規雇用 その他(自営業等)		

センター処理欄

※1 訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。（例：切削加工の作業に約5年間従事、IDM22を受講済み）

※2 該当に○をお付け下さい。非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、貴社の判断で差し支えありません。

（注） 訓練内容等のご不明な点、安全面・健康上においてご不安な点などがございましたら、あらかじめご相談ください。

◎会社からお申込の場合

ふりがな 法人名	株式会社 ◆◆◆工業	事業所名	◇◇◇◇工場
所在地	〒 111-1111 ●●県○○市△△町 1111	法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 国税庁法人番号(13桁)公表サイト 二次元コード↓
担当者連絡先 部課役職	生産技術課 リーダー	法人番号がない場合は、該当に○印 1.団体 2.個人事業主	
氏名	群馬 花子	TEL	111-□□□-2222
従業員数	A. 1～29 B. 30～99 C. 100～299 D. 300～499 E. 500～999 F. 1,000人以上	業種 ※3より E	FAX 111-□□□-3333

※3 業種は、以下の20種のうち該当するアルファベットを1つ記入してください。 A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E.製造業 F.電気・ガス・熱供給・水道業 G.情報通信業 H.運輸業、郵便業 I.卸売業、小売業 J.金融業、保険業 K.不動産業、物品賃貸業 L.学術研究、専門・技術サービス業 M.宿泊業、飲食サービス業 N.生活関連サービス業、娯楽業 O.教育、学習支援業 P.医療、福祉 Q.複合サービス事業 R.サービス業 S.公務 T.分類不能の産業

ご担当連絡先に、請求書、事業主アンケート等お送りいたします

◎個人でお申込の場合

連絡先	住所	〒		
	TEL	平日昼間に連絡可能な番号をご記入ください	FAX	

ご注意 ※キャンセルは開講日の「14日前（14日前が土日祝日の場合はその前の平日）まで」可能です。その後のキャンセルは、受講料を全額お支払いいただきます。申込みコースをキャンセルする場合は、電話連絡のうえFAXにてお送りください。その他、予約内容に変更が生じた場合は、お早めにご連絡ください。

アンケートについて ※受講者様へは最終日に、事業主の方へは一定期間経過後、アンケート調査にご協力をお願いしております。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的について

○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

○ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備等）及び業務統計、当機構のセミナーや関連する案内等に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。会社を通じてお申込みをされた場合、申込担当者様あてに送付いたします。

センター処理欄					

ＦＡＸでお申込みください。

令和7年度 能力開発セミナー

FAX番号 027-347-6668
電話番号 027-347-3905

□ 受講申込書　□ 受講変更届　□ キャンセル届

該当に ☑チェックを入れて、下記◎欄どちらかをご記入ください。

届出日 令和　年　月　日

群馬職業能力開発促進センター（ポリテクセンター群馬）所長　殿

訓練内容と受講要件を確認の上、以下のとおり申込みます。

コース番号	コース名	開始日	ふりがな 受講者氏名		西暦 生年月日
		～		男・女	年 月 日
訓練に関する経験・技能等※1		就業状況※2	正社員　非正規雇用　その他(自営業等)		
コース番号	コース名	開始日	ふりがな 受講者氏名		西暦 生年月日
		～		男・女	年 月 日
訓練に関する経験・技能等※1		就業状況※2	正社員　非正規雇用　その他(自営業等)		
コース番号	コース名	開始日	ふりがな 受講者氏名		西暦 生年月日
		～		男・女	年 月 日
訓練に関する経験・技能等※1		就業状況※2	正社員　非正規雇用　その他(自営業等)		

センター処理欄

※1　訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。（例：切削加工の作業に約5年間従事、旧M22を受講済み）

※2　該当に○をお付け下さい。非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、貴社の判断で差し支えありません。

（注）訓練内容等のご不明な点、安全面・健康上においてご不安な点などがございましたら、あらかじめご相談ください。

◎会社からお申込の場合

ふりがな 法人名		事業所名	
所在地	〒	法人番号	国税庁法人番号(13桁)公表サイト 二次元コード↓
担当者連絡先	部課役職	法人番号がない場合は、該当に○印 1.団体　2.個人事業主	
	氏名	TEL	
従業員数	A. 1～29　B. 30～99　C. 100～299　D. 300～499　E. 500～999　F. 1,000人以上	業種 ※3より	FAX

※3　業種は、以下の20種のうち該当するアルファベットを1つ記入してください。　A. 農業、林業　B. 漁業　C. 鉱業、採石業、砂利採取業　D. 建設業　E.製造業　F.電気・ガス・熱供給・水道業　G.情報通信業　H.運輸業、郵便業　I.卸売業、小売業　J.金融業、保険業　K.不動産業、物品賃貸業　L.学術研究、専門・技術サービス業　M.宿泊業、飲食サービス業　N.生活関連サービス業、娯楽業　O.教育、学習支援業　P.医療、福祉　Q.複合サービス事業　R.サービス業　S.公務　T.分類不能の産業

◎個人でお申込の場合

連絡先	住所	〒		
	TEL	平日昼間に連絡可能な番号をご記入ください	FAX	

ご注意　※キャンセルは開講日の「**14日前（14日前が土日祝日の場合はその前の平日）まで**」可能です。その後のキャンセルは、受講料を全額お支払いいただきます。申込みコースをキャンセルする場合は、電話連絡のうえFAXにてお送りください。その他、予約内容に変更が生じた場合は、お早めにご連絡ください。

アンケートについて ※受講者様へは最終日に、事業主の方へは一定期間経過後、アンケート調査にご協力をお願いしております。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的について

○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

○ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備等）及び業務統計、当機構のセミナーや関連する案内等に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。会社を通じてお申込みをされた場合、申込担当者様あてに送付いたします。

センター処理欄					